

羅針盤



なんでもない日常を大切に、
自分こそが学びの主演
(入学式での「校長式辞」より)

心に刻むということ

1 学年主任 慶徳 芳夫

昨日(4/13)は、これから3年間を黎明で過ごしていくために大切なことを確認する「学習・生活ガイダンス」でした。私の話は、オリエンテーションで話したことの確認から始めました。以下に、もう少し肉付けしながら書きたいと思います。

「人の話を聞くとときには…」の続きを覚えていますか? 「目で見て、耳で聞いて、頭で考えて、心に刻む」この言葉は、私が高校の時の先生が話されていた言葉ですが、特に説明はされませんでした。高校時代の私は、“なるほどな”という程度の受け止めでしたが、なんとなく実践していたように思います。“この態度で授業に臨めば、勉強は授業でなんとかなり、自分の時間が増やせるのでは”と考えたからです。

教員になって、この言葉の意味を改めて考えるようになりました。目を閉じて(あるいは、下を向いて)話を聞けば、周辺情報が少なく、記憶にも残り難いかもしれない。聞くとともに、頭を使わなければ“馬耳東風”、何も身に付かないだろう。頭を使って聞くとすることは、自ら何かを知りたい、理解したいという前向きな意識も必要になる。頭を使って聞くとことは、「主体的な学び」の基本だと思います。頭を使って聞いた結果、納得がいくこと。これを「理解する(した)」と言うのだと思います。

では、「心に刻むように人の話に耳を傾ける」とは、どのようなことを言うのだろうか? 青年教師だった私にはわかりませんでした。昨日のガイダンスでは、このように説明しました。「理解する」を簡単に言い換えれば「わかる」になる。「わ・か・る」を並べ替えると…、「か・わ・る」になります。「かわる」は「変わる」です。人の話を聞いて(「何かを

学んで」と言い換えても良い)、それを心に刻めば、自分の中で何かしらの変化が起こります。ものの見方が変わる、見えている世界が変わる、考え方が変わる、進路希望が変わる、生活態度が変わる、自分の生き方が変わる、人生観が変わる……。

さあ、今日からは通常授業が始まります。授業も、「目で見て、耳で聞いて、頭で考えて、心に刻むこと」。17期生の皆さんの素晴らしい変化を期待しています。

4月	曜日	行事等	朝学習
17日	月	部活動編成	数学
18日	火	心電図、結核検査	英語
19日	水	交通安全教室	国語
20日	木		総合
21日	金	PTA学年委員会	数学
22日	土		
23日	日		
24日	月	校歌練習(短縮45分授業)	数学
25日	火	校歌練習(短縮45分授業)	英語
26日	水	校歌練習(短縮45分授業)	国語
27日	木	校歌練習(短縮40分授業)	総合
28日	金	(短縮40分授業)	数学
29日	土		
30日	日	PTA総会(授業参観もあります)	英語

入学して5日、様々な行事がありました。

いよいよ高校生活が本格的にスタートします。

先輩方、よろしくお願ひします。



入学2日目、11日(火)。生徒会主催による「対面式」がありました。先輩方の歌う「校歌」と「未来の風」に感動しました。新入生を代表して6組の松井景正君が「お礼の言葉」を述べました。

黎明生のエネルギーに震えました。

入学3日目、12日(水)。生徒会主催による「新入生歓迎会」がありました。

各部活動による、工夫され魂のこもったステージ発表。とてもレベルの高い部活動紹介動画。先輩たちの持つエネルギーに、新入生の魂も感動で震えたようです。さて、どの部活に入ろうかな…。

新入生を代表して4組の白岩瑛美莉さんが「お礼の言葉」を述べました。



ガイダンスで方向性が見え、新しい友人もできました。



学校生活、学習の内容や学習方法などのガイダンス。グループ・エンカウンターで新しいクラスメートとも打ち解け、開成山公園での花見で新しい友人もできたようです。

学校生活の様子は、安積黎明高校のホームページにも掲載されています。『1学年(17期生)』のページなども、ぜひご覧ください。